

平成17年度野洲市の決算を公表します！

平成17年度の野洲市の決算状況をお知らせします。

決算状況は、市税、国や県からの支出金や交付金などがどのように市に入り、どのような事業に使われたかをまとめたものです。

市には、市民のみなさんに収めていただいた市税などを財源として事業を行う一般会計と、保険料や使用料などで事業を行う特別会計や企業会計があります。

決算額は千円単位を四捨五入して端数調整のうえ万円単位で表しています。

平成17年度 一般会計決算

歳入 189億4,691万円

歳出 184億1,450万円

平成17年度は、野洲市として本格的なスタートの年で、北野幼稚園3年保育室増築、コミュニティセンター(ひょうず・なかさと)整備、新給食センター建設などの合併協議で議論された事業に着手しました。

一方、財政状況が厳しい中でもあり、各種施策の推進のため、経常経費の抑制や、市債の発行、基金の取り崩しをするなどして財源の確保に努めました。

その結果、歳入と歳出の差し引きは、5億3,241万円の余剰となり、このうち翌年度に繰り越した事業の財源1,370万円を除いた最終的な収入と支出の差額は、5億1,871万円の黒字となりました。(ただし、この黒字は多額の市債の発行や基金の取り崩しにより生じたものです。)

このお金は翌年度以降に必要な事業などに充てるほか、基金に積み立てたりします。

市民一人当たりの決算額と主な事業

・金額は一般会計の歳出額を平成18年3月31日現在の人口49,831人で割り戻した額

・[]内は歳出全体に占める割合

・ は平成17年度に実施した主な事業

民生費【22.0%】 高齢者、障害者、児童の福祉推進などに

81,221円/人

障害者支援費サービス

市内循環バス

老人福祉施設整備補助

福祉医療費助成

学童保育所整備・運営

児童手当、児童扶養手当

公立・民間保育所運営

生活保護

教育費【17.7%】 学校などの施設の管理運営や整備などに

65,491円/人

祇王幼稚園改修工事

北野幼稚園増築・改修工事

小中学校・幼稚園管理運営

中央公民館・文化ホール設備改修工事

文化体育施設管理運営

学校給食センター用地購入

総務費【15.0%】 企画、自治振興、財産の管理などに

55,251円/人

コミュニティセンター施設整備

野洲市総合計画策定業務

公共施設のネットワーク整備

固定資産評価替調査

庁舎等維持管理

公債費【14.5%】 借りたお金の返済に

53,398円/人

土木費【12.1%】 道路、土地区画整理、公園、公営住宅の整備などに

44,887円/人

道路維持(新川橋補修工事ほか)

道路新設改良(野洲川右岸線ほか)

中畑・小篠原土地区画整理事業

都市計画道路市三宅北桜線等整備

市営住宅建設等(新上屋団地、和田団地、木部団地)

衛生費【9.1%】 ごみ、し尿の処理や健康管理などに

33,463円/人

地域医療体制整備補助
健康診査、健康相談
予防接種
新エネルギー導入促進事業
し尿処理
ごみ処理

消防費【4.6%】 消防や救急業務、防災対策などに

16,974円/人

湖南広域行政組合(消防事業)負担金
防災行政無線システム整備

その他【5.0%】 産業の振興などに

18,854円/人

生産調整推進(麦・大豆の作付)
土地改良(水路・ため池改修、農道整備)
工業振興助成

平成17年度 各会計決算額

区分		歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計		189億4,691万円	184億1,450万円
特別会計	国民健康保険事業	33億7,757万円	33億4,310万円
	老人保健事業	32億9,169万円	32億9,129万円
	介護保険事業	22億7,799万円	22億156万円
	地域医療振興資金貸付事業	2,468万円	2,468万円
	下水道事業	23億9,935万円	23億9,455万円
	墓地公園事業	3,216万円	2,723万円
	基幹水利施設管理事業	1,456万円	1,456万円
	野洲川農地開発事業	2,035万円	2,035万円
	工業団地等整備事業	20億7,484万円	20億7,397万円
	土地取得	5,203万円	5,203万円
企業会計	水道事業		
	収益的収支	9億3,147万円	8億7,309万円
	資本的収支	6,922万円	2億1,354万円

水道事業

収益的収支:

水源地などの維持管理経費で、経営状況を表しています。

資本的収支:

配水管などの建設改良経費で、設備投資の状況を表しています。

収支不足額は損益勘定留保資金及び消費税等資本的収支調整額で補てんしました。

「基金」と「市債」

市には「基金」と「市債」があります。みなさんの家庭で言い換えますと、基金は「預金」、市債は「借金」にあたります。

「基金」とは？

基金には、税収の落ち込みなどにより財源不足になったときに使うための基金や、施設の建設などの特定の目的のため資金を積み立てる基金などがあります。市では公共施設の整備や市営住宅の整備などの資金に充てるための基金を設置しています。

基金の現在高

財政調整基金	10億7,909万円
減債基金	3,675万円
特定目的金	12億1,643万円
公共施設整備基金	5億4,575万円
その他特定目的基金	6億7,068万円
定額運用基金	7億1,693万円
土地開発基金	7億793万円
その他定額運用基金	900万円
計	30億4,920万円

市民1人あたり61,192円の現在高です。

「市債」とは？

市債は、市が道路や施設の整備などを行うために、国や金融機関から借り入れるお金のことです。

市債には2つの機能があります。1つは、多額の財源を要する施設の建設などについて、市民のニーズにできるだけ早く応えていくために財源を応急的に確保すること、もう1つは、施設整備などの費用負担について、現在の市民と将来の市民、また世代間を越えて負担の公平性を図ろうとするものです。

市債の現在高

一般会計	242億2,805万円
介護保険事業特別会計	4,945万円
下水道事業特別会計	153億3,517万円
工業団地等整備事業特別会計	29億9,670万円
土地取得特別会計	2億8,342万円
水道事業会計	32億4,602万円
計	461億3,881万円

市民1人あたり925,906円の現在高です。

財政健全化に向けて

野洲市の財政は、景気の動向に左右されやすい法人市民税の比率が高く、特に1法人の比率が高いという不安定な財政構造となっています。その法人市民税を中心とした税収は近年伸び悩みとなっていますし、国による三位一体改革の影響も市の財政を圧迫しています。平成17年度においても緊急避難的に基金を取り崩しながらなんとか財政運営をしてきたところですが、その基金残高も残りわずかとなり、財政状況は非常に厳しいものとなっています。この状況を一刻でも早く改善するため、市ではこの度、財政健全化計画を策定して、人件費の削減、既存事業や今後の事業の見直し、市税徴収の徹底や手数料など見直しなど、改革を集中的に取り組んでいきたいと考えています。この難局を乗り切るために、市民のみなさんにも何とぞご理解やご協力をよろしくお願いします。

市税：市に納められる市民税や固定資産税などの税金

財産収入・繰入金：市有地の貸付収入や預金利子、基金（積立）からの取り崩しなどの収入

負担金・使用料等：学校給食費、保育所の保育料、文化ホールなどの利用者からいただいた使用料など

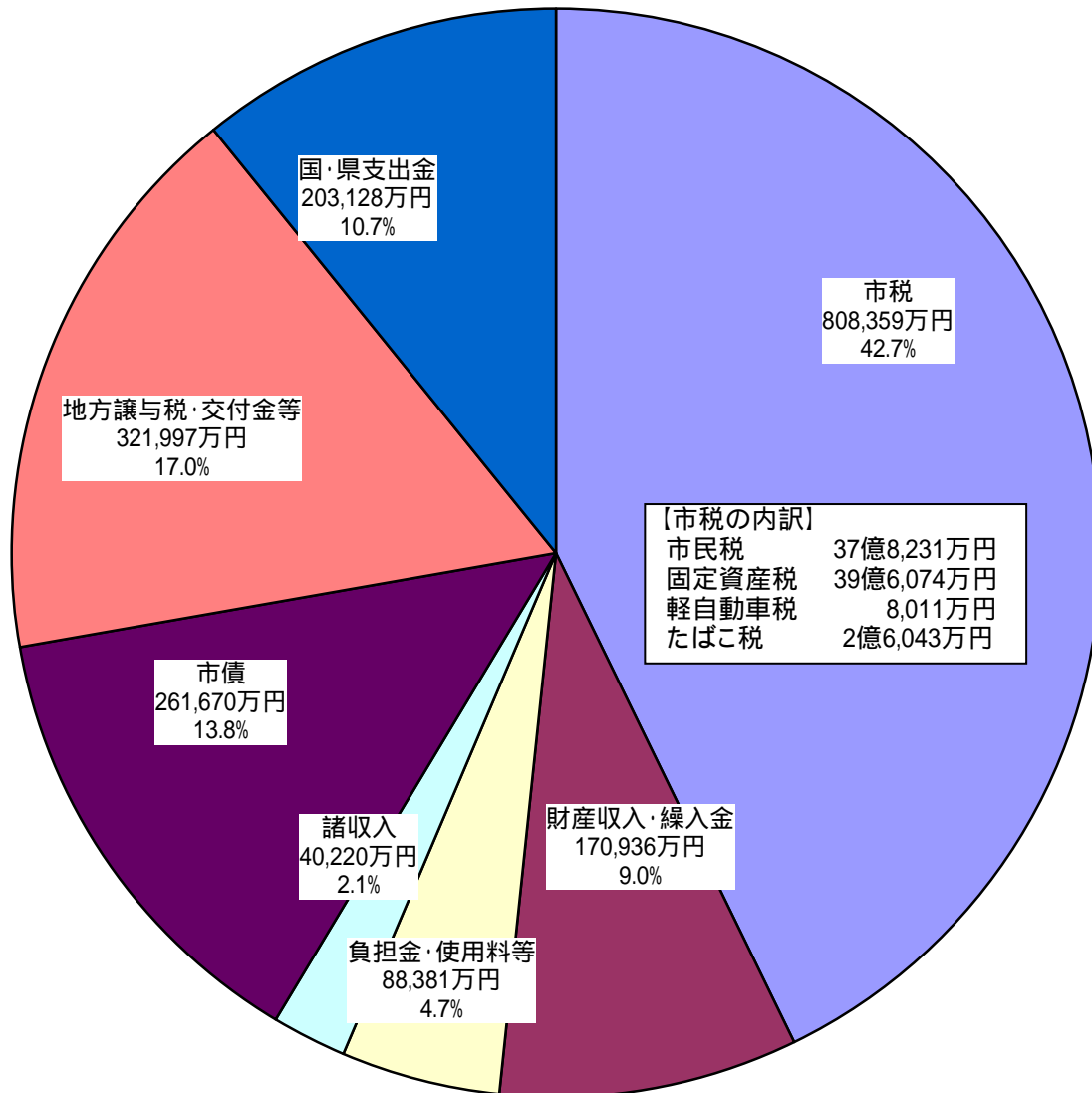
諸収入：貸付金元利収入、雑入などの収入

市債：市が公共事業等を行うための財源として国や金融機関からの借入金

地方譲与税・交付金等：国税として徴収された税金の一部を、市に譲与または交付されるもの

国・県支出金：市が行う特定の事業に対する財源として国や県からの入る補助金など

一般会計歳入決算額(189億4,691万円)の内訳



【金額は、12億3,456万円のように表示します】

一般会計歳出決算額(184億1,450万円)の内訳

